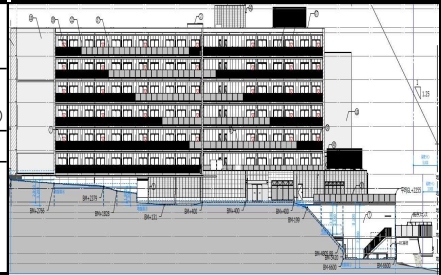


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)秦野市南矢名2丁目プロジェクト	階数	地上7階 地下1階
建設地	神奈川県秦野市南矢名2丁目84-5、84-28、84-31	構造	S造
用途地域	第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	496 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年2月20日
敷地面積	7,053 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	3,084 m <sup>2</sup>	確認日	2024年2月20日
延床面積	14,759 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 採光・換気が十分にとれる窓の設置と、等級4レベルの断熱性能により、室内環境の向上に配慮した。また、敷地内に緑化を行い、室外環境の向上にも配慮している。	<b>その他</b> 特に無し	
<b>Q1 室内環境</b> 採光・換気が十分にとれる窓の設置と、等級4レベルの断熱性能により、室内環境の向上に努めている。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の高い材料の使用により、建物の耐用性向上に努めている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内に緑化を行い、室外環境の向上に努めている。
<b>LR1 エネルギー</b> 設備の高効率化に努めている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマやノンフロン断熱材の使用により、資源の保護に努めている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 特に無し

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される